

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育型児童デイ メイト		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業所移行などのトータルサポートで招待に対する不安を軽減できる	法人内に生活介護や就労継続支援B型があり、定期的に作業所体験会を実施するなどし、児童デイ卒業後の進路決定、スムーズな移行ができるようにしている	現在の福祉に対する困りごとをお聞きし、必要な福祉サービスを提示し繋げていくことで各ご家庭での生活の役に立つようしていく
2	怪我防止のためのマットが設置されている	玩具や児童の荷物を収納できるスペースも確保できている。また万が一の転倒の際にも怪我防止のためのクッションも全面に配置している	家具やクッションも汚れが目立っており買い替える必要があるので対応していく
3	保護者様に1日の様子が伝達できている	連絡帳はすべて電子媒体で写真と様子など利用終了後に伝達している。その際に自宅での様子など意見をいただき情報交換が出来る	Instagramやブログも更新しているが浸透率は低い為周知していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースがせまいと感じられる保護者様がいらっしゃる	児童の人数的に一時的に狭いと感じられることが原因と考えられます。	家具などの配置換えなど行い少しでもスペースを広く使用できるように対応していく
2	書類業務、事務作業の効率化	書類作成、記録に時間がかかり、子どもたちとの関わり、支援の時間が取れずもっと児童とかかわりたとの思いがある	子ども一人ひとりの特性や成長の記録をしておくことも支援の一つの認識を持ち、データ化などの簡素化できるものは取り組んでいく
3	家族支援の充実	電子媒体や送迎などで各児童の様子の伝達、相談などお受けしていますが保護者様のお仕事が遅く、十分な家族支援の時間が取れないとの思いがある	電子媒体や送迎時での情報共有は継続しつつ、こちらからも保護者様へのアプローチを行い相談しやすい環境を整えておく